

課題研究における評価の考え方

【課題研究の評価基準】

1. 基本要件

- (1) 課題研究報告は、修士（専門職）の学位を申請する者が、本大学院医学研究科専門職学位課程ディプロマ・ポリシーが求める学力、能力、資質を備えていることを示す十分な内容を有すること。
- (2) 課題研究報告は、他人の論文ないし研究発表内容を侵害する内容を含んでいないこと。
- (3) 課題研究報告は、自身が所属する医療機関等を対象とする実践的な内容であること。
- (4) 課題研究報告は、著作権、肖像権その他の本人以外の権利を侵害していないこと。
- (5) 課題研究報告は、必要に応じて「医学研究倫理審査委員会」等の承認を得て適正に行われた研究に基づき作成されたものであること。

2. 論文の構成

課題研究報告は、以下の要件を満たす構成とする。

- (1) 専門職学位課程の最終到達目標「地域社会に対する深い洞察と、国際標準の医療の質を見据えた健全な病院経営の実現」に沿ったテーマに関する内容であること。
- (2) 研究の背景が記述され、研究目的が明確であること。
- (3) 目的に沿った実践的な内容が記述されていること。
- (4) 目的に対応した考察と結論が適切に導き出されていること。
- (5) 文献引用等が適切になされていること。

3. 内容

課題研究報告の内容は、以下の項目について評価する。

- (1) 病院経営学・管理学分野において健全な病院経営を実践するための課題、それに準ずるものであること。
- (2) 選択したテーマと研究プロセスに関して詳細に記載されていること。
- (3) 論理的に一貫した構成と内容を有していること。
- (4) (1) から (3) までの項目に加えて、特筆すべき内容があれば、それも評価の対象とする。